



Daiwa House
Group

N e w s L e t t e r

2024年12月26日

報道関係各位

大和ハウスベンチャーズ株式会社
東京都千代田区飯田橋3丁目13-1
代表取締役社長 鈴木哲雄

**■最先端の品種改良の推進と量産体制の強化に向けた連携
「品種改良技術」×「スマート養殖技術」で世界の食料問題や
水産業の課題解決を目指すリージョナルフィッシュに出資**

大和ハウスグループの大和ハウスベンチャーズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：鈴木哲雄、以下「大和ハウスベンチャーズ」）は、2024年12月25日、大和ハウスグループ投資事業有限責任組合^{*1}（以下「“将来の夢”ファンド」）を通じて、ゲノム編集技術をはじめとした品種改良技術とスマート養殖技術を活用したスタートアップであるリージョナルフィッシュ株式会社（本社：京都府京都市、代表：梅川忠典、以下「リージョナルフィッシュ」）へ出資しました。

※1. 大和ハウスベンチャーズが運営するコーポレートベンチャーキャピタルファンド



リージョナルフィッシュは、京都大学大学院農学研究科の木下政人准教授、近畿大学水産研究所の家戸敬太郎教授らによる共同研究で生まれた技術シーズ^{*2}をコアとして設立されたスタートアップ企業です。

世界的な人口増加に伴い、タンパク質の需要が供給を上回る「タンパク質クライシス」の到来が予測されています。また、地球温暖化の影響により、各地で歴史的な海水温の上昇が観測されています。この結果、かつて漁獲できた魚が獲れなくなったり、養殖魚が高水温により大量死したりする現象が広がっています。

こうした課題に対し、同社は世界の食糧問題と水産業の課題解決を目指し、高温耐性に重点を置いた品種改良により、高温に適応できる魚種の開発を進めています。また、最先端の「品種改良技術」と、魚種に合わせた給餌や清掃環境制御などを自動で行う「スマート養殖技術」を組み合わせる「次世代養殖システム」の構築を目指しています。

大和ハウスグループは、日本最大級のサーモンの陸上養殖施設で得た建設知識と豊富な土地情報を活かし、リージョナルフィッシュおよびその協業先の生産量拡大に必要な陸上養殖場の開発を支援することなどにより、食糧問題にまつわる社会問題の解決に貢献していきます。

※2. 新規事業開発を進めていくうえで必要になる技術のこと



【品種改良の様子】



【可食部増量マダイ※3】

※3. 筋肉量を調整するミオスタチン遺伝子を欠失させることのできる可食部の多いマダイのこと。

■ “将来の夢” ファンド（正式名：大和ハウスグループ投資事業有限責任組合）の概要

「“将来の夢” ファンド」は、大和ハウス工業株式会社の創業 100 周年となる 2055 年にありたい姿（パーパス）として掲げる「生きる歓びを、未来の景色に。」の実現に向け、社会にインパクトのある明日の社会に不可欠の（アスフカケツノ）事業に投資しています。

所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
ファンド総額	300 億円（キャピタルコール方式）
運用期間	2024 年 1 月 1 日～2055 年 12 月 31 日
運用会社	大和ハウスベンチャーズ株式会社
出資比率	大和ハウス工業株式会社（99.9%） 大和ハウスベンチャーズ株式会社（0.1%）
ホームページ	https://www.dhgfuturefund.co.jp/

■会社概要

1. 大和ハウスベンチャーズ株式会社

会社名	大和ハウスベンチャーズ株式会社
本社所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木 哲雄
設立	2023 年 11 月
主な事業内容	CVC ファンドの運営、スタートアップ支援及び協業促進 上記活動と連携する事業開発の推進
ホームページ	https://www.daiwahouseventures.co.jp/

2. リージョナルフィッシュ株式会社

会社名	リージョナルフィッシュ株式会社
本社所在地	京都府京都市左京区吉田本町 36 番地 1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 梅川 忠典
設立	2019 年 4 月
主な事業内容	ゲノム編集などの最先端の品種改良とスマート陸上養殖を融合した水産養殖事業
ホームページ	https://regional.fish/

以 上

お問い合わせ先	
大和ハウスベンチャーズ株式会社	03（5214）2020